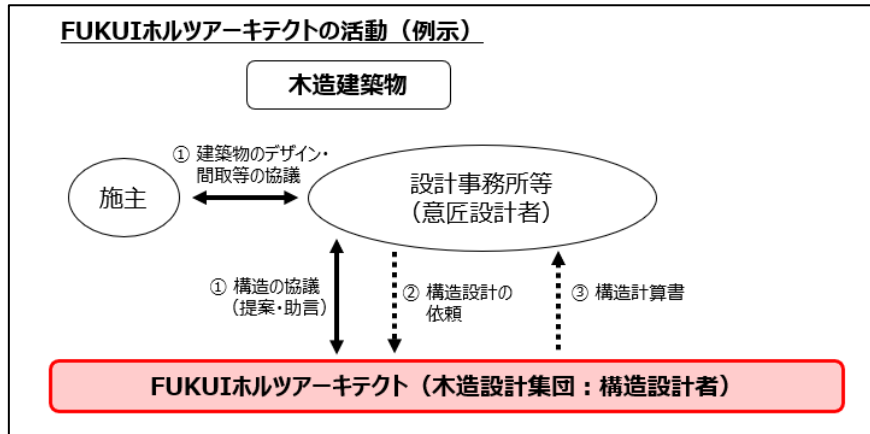


FUKUI ホルツアーキテクトについて

(1) 設立の目的

木造率が低位な非住宅建築物や中大規模建築物への県産材利用を促進するため、建築士等に対して木構造設計の提案・助言を行う木造設計集団「FUKUI ホルツアーキテクト」を結成



(2) 設立の経緯

<現状>

住宅に比べ中大規模となる非住宅建築物の木造率は14%^(※)と低位

(※) 床面積当たりの木造率 [建築着工統計調査 (令和3年度) より試算]

(要因)

- ・県内に中大規模木造の構造設計のできる建築士が少ない。
- ・県内大学において、木造の構造設計に関する講義が少ない。

<令和2～4年度>

中大規模木造の構造設計等を学ぶ「ホルツアーキテクト育成講座」を開催

受講者数：45名 (R2:16名、R3:14名、R4:15名)

<令和5～6年度>

受講者を中心に「FUKUI ホルツアーキテクト」を結成

チーム員数：12名 (当初8名)

- ・木構造の提案や助言
- ・構造設計、構造計算

<期待される効果>

中大規模施設の木造化の促進、県産材需要の創出、森林の適正な整備
地域経済の循環